

祝 富士山世界文化遺産登録十周年記念
千葉県生誕百五十年記念事業

よみがえる理想郷
梅ヶ瀬詩人 日高誠實



主催：忍野富士山アートピア実行委員会、 養老溪谷梅ヶ瀬大福山GSL実行委員会

三保松原も一転含め

2013年6月22日

富士山世界遺産決定

ユネスコ委

「信仰と芸術の源泉」

【フロンペン＝加藤隆士】カンボジアの首都フロンペンで開催中の国連教育科学文化機関（ユネスコ）世界遺産委員会は二十二日、日本政府が推薦している「富士山」（静岡、山梨両県）の審査を行い、「信仰の対象と芸術の源泉」と評価して世界文化遺産に登録することを決めた。静岡市の三保松原（みほのまきばら静岡市清水区）は構成資産から除外を勧告されていたが、一転し、含まれることになった。

文化庁によると、国内の世界遺産は十七件目。文化遺産では十三件目。自然遺産に四件が登録されている。

登録決定を受け、近藤誠一文化庁長官は「喜びや悲しみを分かち合ってきた日本人の美しい心のシンボルが富士山。文化遺産として認められたのは、日本の歴史に残る出来



各国

世界文化遺産への登録が決まった富士山。手前は三保松原。22日午後0時13分、静岡市清水区沖の駿河湾で、本社へ「まなづる」から（内山田正夫撮影）

富士山登録をめぐる二十二日の世界遺産委員会の審査は、国際記念物遺跡会議（イコモ

「信仰と芸術の源泉」



小内院
雷岩
大浪源頭部
岩
洞



中房総ゴールデンレイライン



一宮

御来光の道 レイライン



レイライン



東の起点 一宮

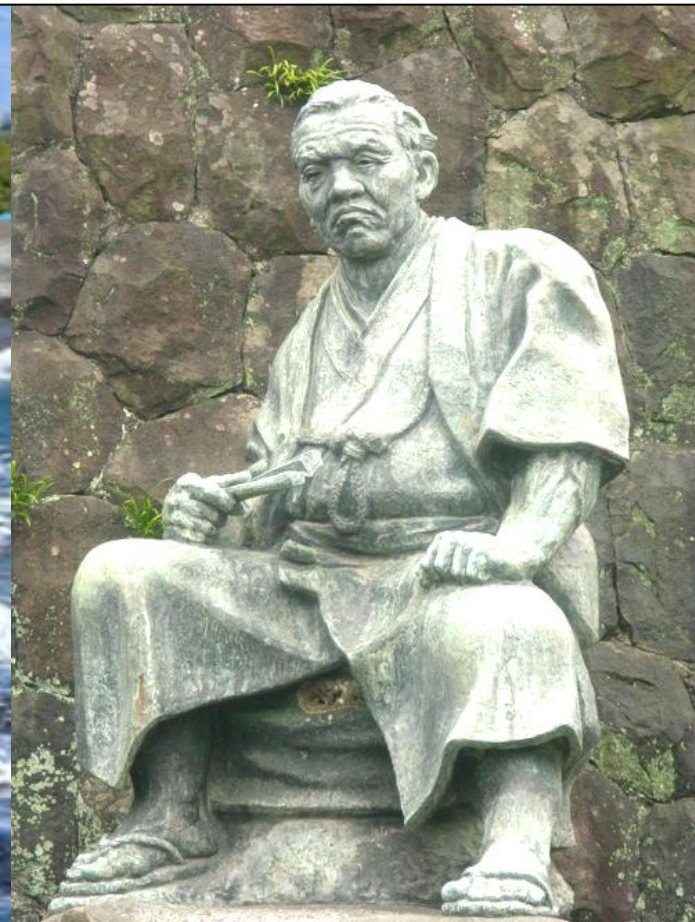


主催：忍野富士山アートピア実行委員会、 日本新極美術研究所

2023.2.18(土) 千葉県一宮町・上総國一宮 玉前神社にて油彩画「富士山」
奉納ならびに詩・画・舞(うた・え・まい)奉納式典開催

中房総ゴールデンレイライン

三保の松原や清水湊と市原市鶴舞



「清水ノ次郎長」



「伏谷如水卜清水次郎長ノ碑」 建立除幕



平成13年2月23日 鶴舞公民館



伏谷如水 5 代目・高石鶴子 清水の次郎長 7 代目・服部千恵子



中房総ゴールデンスパイクライン

養老溪谷
チバニアン

Chibanian



Calabrian



チバニアンゴールドデンスパイク設置
令和4年5月21日

養老川 田淵



BYK-C

神戸大学 環境科学部
測定中

地層学 未測定の間
下から2番目の黄色坑より
の層乃至(黄色坑も含む)

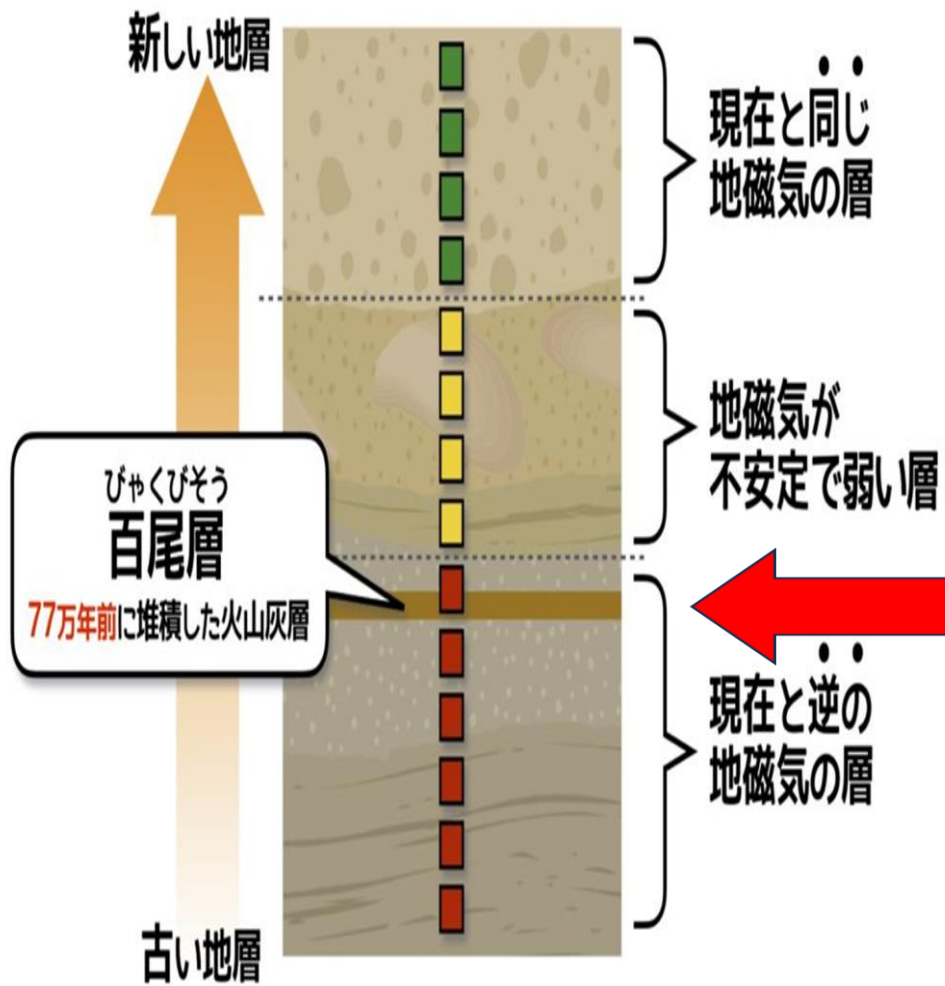
Chibanian GSSP 2020 JAPAN

Chibanian
Calabrian

BYK-E

Chibanian GSSP 2020 JAPAN

チバニ안의地層 地磁気逆転の証拠!!



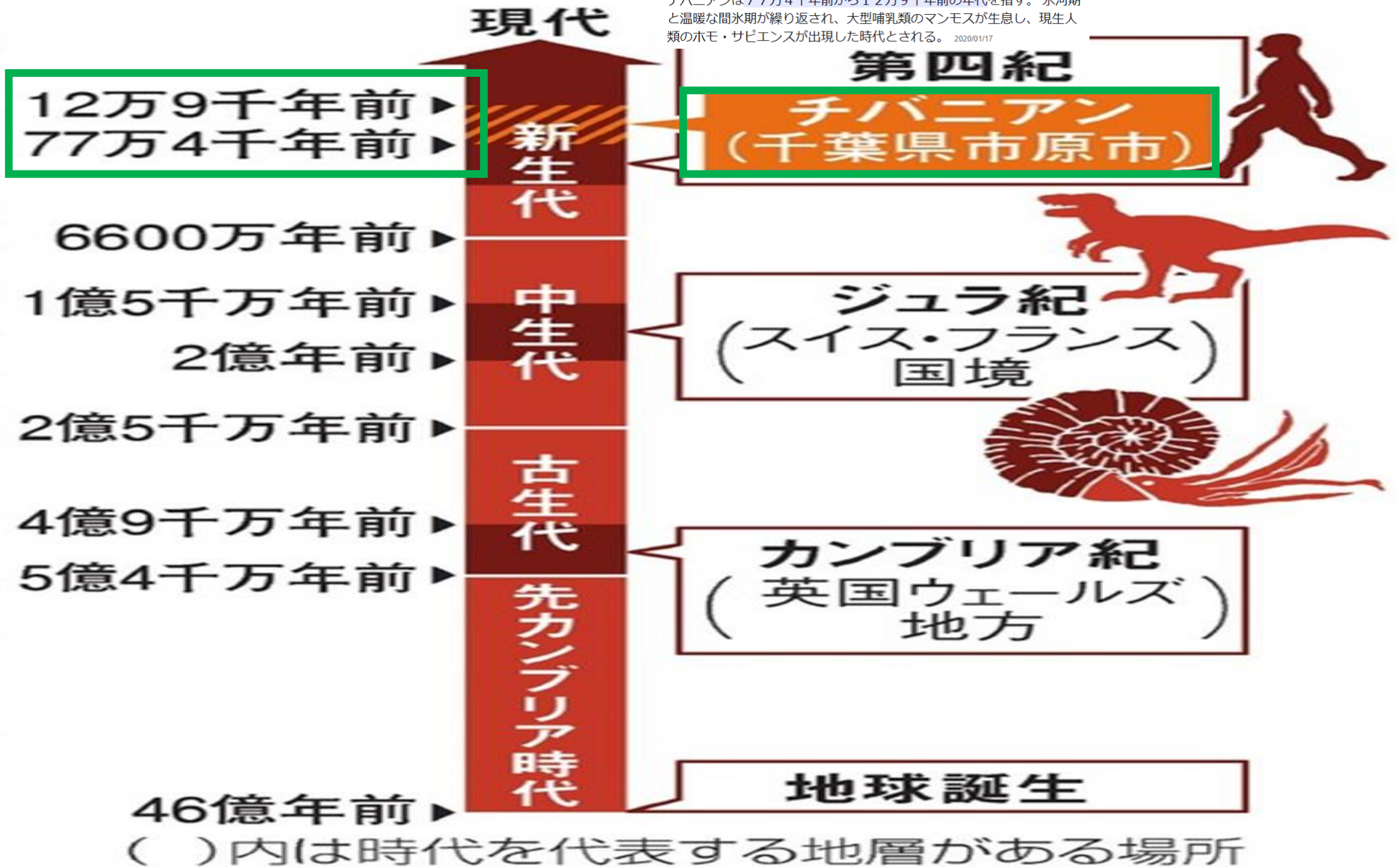
※百尾層は御嶽山の噴火により堆積した火山灰層
(長野県木曾町)zupa.com



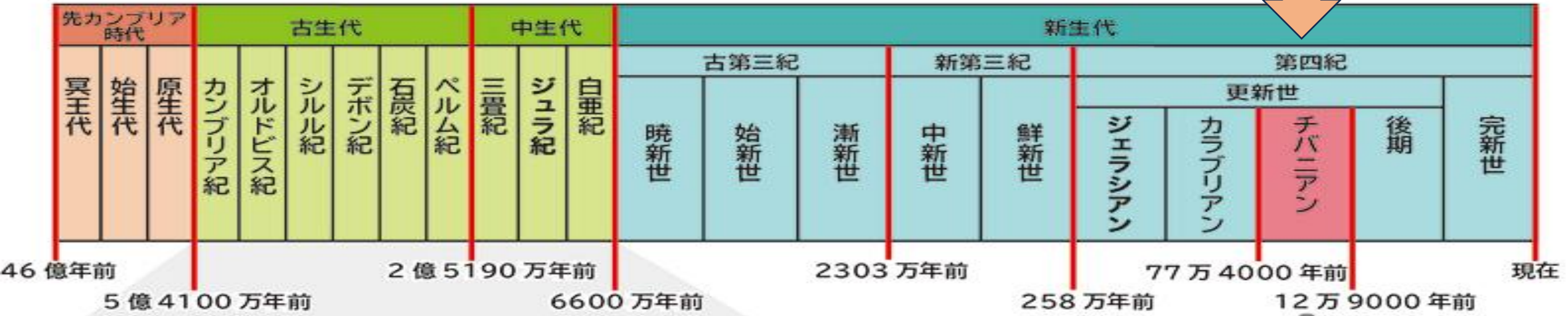
チバニアンは77万4千年前から12万9千年前の年代を指す。氷河期と温暖な間氷期が繰り返され、大型哺乳類のマンモスが生息し、現生人類のホモ・サピエンスが出現した時代とされる。 2020/01/17

地質時代「チバニアン」とは

国際学会の資料などから



■地質年代表



※国際層序委員会の資料を基に作成



チバニアン期の海の生き物

産地 梅ヶ瀬層



© 徳川広和

オオキトド

学名: Otariidae
分類: 食肉目イタチ小目 (鳍脚類) アシカ科
化石産地: 千葉県 (梅ヶ瀬層・長浜層)

時代: カラブリアン期~チバニアン期 (約90万-60万年前)

特徴

体長5メートル、体重3トンの世界最大級の絶滅トド。
千葉県だけから化石が見つかっていて、和名の由来は
発見者の当館職員 大木にちなむ。

産地 万田野層



© 徳川広和

オデュッセウストド

学名: *Proterozetes ulysses*
分類: 食肉目イタチ小目 (鳍脚類) アシカ科
化石産地: 千葉県 (万田野層)、北米太平洋岸
時代: チバニアン期~後期更新世

特徴

絶滅種で、体長3メートルと現在のトドよりやや小さい。
原始的なトドで、北米太平洋沿岸で化石が見つかるが、
日本では、千葉県からはじめて発見された。



富士山 寶林寺

中房総ゴールデンスパイクライン

—— 養老溪谷 ——



ようろけいこく
養老溪谷
YORŌ KEIKOKU

← かづさなかの | かづさおこぼ →

ハテ101

1号車

40



小湊鉄道・養老溪谷駅

曹洞宗 富士山 寶林寺 曹洞宗 富士山 寶林寺

観光案内

いちはら・養老溪谷 信仰と文化の源泉

溪谷橋

兼龍

田川農機

細谷輪業商会

養老溪谷駅足湯

(社)市原市観光協会 養老溪谷駅前

アートハウスあそびの谷 宝衛橋

宝衛橋・梅ヶ瀬溪谷分岐点

白百 容院

あそびの谷

ヤマザキショップ養老店

市原市消防団 加茂支団第6

81

Restaurant Shiratori

いちはら観光大使 寶林寺住職 千葉公慈さん



祝 富士山世界文化遺産登録十周年記念
千葉県生誕百五十年記念事業



2023.2.11(土) 富士山宝林寺にて「富士山詩画」奉納式典開催



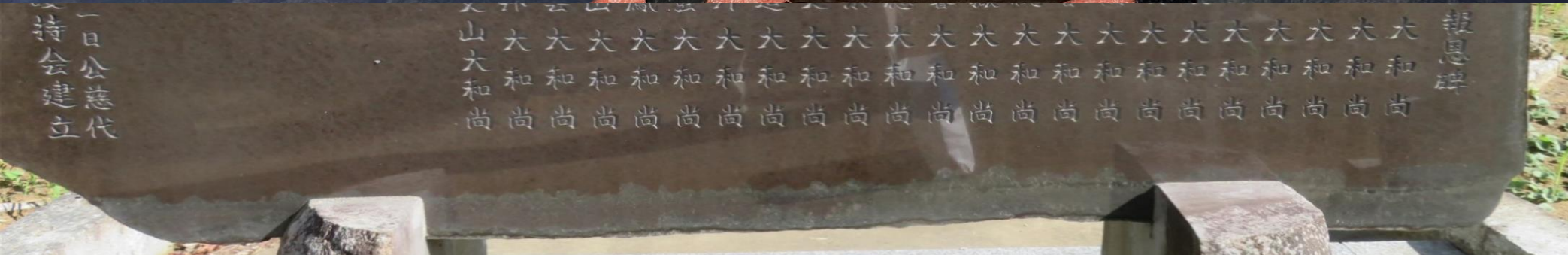
富士山寶林寺は初代住職が富士山の麓から来て寺を創建し、目の前の山を富士山に見立てて「富士山寶林寺」と命名、その富士山から「富士山詩画」と吟詠の奉納を受け、これは富士山信仰神仏の導きであるとの思いがします。以前には山の頂上に「富士浅間五社大菩薩」が祀られていたということです。



駿河の出身 富士山寶林寺開山

開山 鳳巒壽陽大和尚

富士山寶林寺歴代報恩碑



南総里見八犬伝・伏姫のモデルは寶林寺の種姫



「八犬伝」は江戸時代に書かれた物語で、戦国武将・房総里見氏をそのモデルとしていますが、史実ではありません。八犬伝は全部で106冊もあるとても長いお話です。書いた人は曲亭（滝沢）馬琴（1767～1848）です。

八犬伝には里見のお姫様の伏姫、犬の八房などが登場しますが、悪者や恐ろしい妖怪から里見を守る八人の「八犬士」が血湧き肉躍る大活躍をします。



失明した馬琴は口述し、長男の嫁、路女に代筆させた。



この八犬伝を書くのに馬琴は28年もかかったと言いますが、そのため書いている途中で、馬琴は目が見えなくなってしまいました。馬琴は家族の協力を得て、がんばって八犬伝を完成させました。

戦国時代の房総の雄、里見義堯公の長女、里見種姫は大
多喜城主、正木大膳亮時茂の長男、正木大太郎（郡誌には
太郎、位牌は久太郎）に嫁した。

永禄七年一月八日、大太郎は第二次国府台合戦で戦死。
時に二十五歳、種姫は二十二歳。悲しみのあまり姫は尼
僧となり、安房白浜に種林寺を創建し、後に当地に至り
尼住居を草庵。



永禄七年八月、朝生原の字坊山に宝林寺を開基し、亡
夫の冥福を祈ったという。開山となる初代住職は、駿河
の国より来山された鳳岳壽陽大和尚。
天正十七年六月十五日、種姫四十八歳で病死。

参照 曹洞宗 宝林寺の沿革

大太郎が第二次国府台合戦で戦死したその時、種姫はまだ22歳でした。亡き夫の冥福を祈るため、この本堂でお経をあげながら、寝泊まりの生活は、あちらの山にあった洞窟で過ごされたようです。その洞窟跡に昔はコウモリが沢山いて不気味な場所でしたが、残念ながら当時の洞窟は昭和45年の水害によって崩落してしまい、今はその跡地があるだけになりました。

種姫は存命中に、いったん安房白浜へ移ったことがあり、この寶林寺の姉妹寺になる種林寺を白浜に建立しますが、すぐにこの養老溪谷へ戻り、天正17年6月15日、織田信長が亡くなって、豊臣秀吉によって天下統一がすすむ頃、48歳の生涯を終えたのです。まさに戦国の世に生まれ、戦国の世とともに波瀾万丈の生涯を生き抜いた悲運のお姫様といえます。



種姫像

寶林寺 種姫像と御位牌

禪尼者里見義光之長女種姫也嫁正水久太郎々々々
北五歳戰歿種姫守貞創種林寺於白濱作尼而居焉
里見氏以十五石地附之後避圖書之亂到當寺云云

尼すまいの住居跡

この地は里見種姫君が出家され、
尼となって生活された洞窟跡です。

尼すまいの住居跡

ふさ姫が住んでいた洞穴跡は昭和45年の大雨で土砂が崩落し、塞がってしまった。



里見種姫靈塔
里見義堯公長女
正木大太郎正室

里見種姫
歴代住職墓地
大施會
大施會
良史 榮達 信士 伍 玄蘭 伍 今 主 三 郎 大 人 正 木 大 太郎 正 室



ふさひめ

里見種姫の墓



三保の松原

中房総ゴールデンレイライン

鶴舞
養老溪谷

富士山周辺と中房総を結ぶ大文化祭 養老溪谷

千葉県誕生150周年!

富士山文化遺産登録10周年記念

富士山詩画誕生 / ふる里に時を咲かそう!

養老溪谷梅が瀬・日高誠實 / 梅が瀬詩画 詩・画・舞奉納式典!



場所：小湊鉄道 養老溪谷駅裏 梅ヶ瀬溪谷入口駐車場広場

日時：令和5年3月19日（日） PM13:00～15:00

司会進行：忍野富士山アートピア実行委員会実行委員長 関谷正夫

白鳥神社宮司 「お祓い」





詩・画・舞奉納（うた・え・まい）の奉納



忍野村贈



詩・画・舞奉納（うた・え・まい）の奉納



平



富士

富士山は、日本の象徴であり、多くの日本人の心を魅了している。その雄大な姿は、自然の偉大さを示している。また、その山頂からは、美しい景色を眺めることができる。富士山は、私たちの生活に欠かせない存在である。

八洲を照らす
肥人を休らす
區區風物の上
地宜しき
秋の樂
富士
博文



2023.4.2(Sun) 大福山山頂・白鳥神社にて「富士山詩画」油彩画F20号奉納式典開催

理想郷・梅ヶ瀬住人 日高誠實を偲ぶ吟詠会

富士山
日高誠實／理想郷・梅ヶ瀬詩画誕生記念感謝祭
世界文化遺産富士山／信仰の対象と芸術の源泉
場所：小湊鉄道 養老溪谷駅裏 梅ヶ瀬溪谷・日高のぶざね洞門広場
日時：2023年5月21日(日) AM11:00～12:30

忍野・富士山アートピア

祝
千葉県誕生百五十周年記念
富士山世界文化遺産登録十周年記
主催 忍野富士山アートピア実行委員会 二社一協関係者

梅ヶ瀬詩画十首十景発表
日高誠實／理想郷・梅ヶ瀬詩画誕生記念感謝祭
主催 忍野富士山アートピア実行委員会 二社一協関係者





梅ヶ瀬詩画十首

梅ヶ瀬詩画十首
梅ヶ瀬詩画十首
梅ヶ瀬詩画十首





祝 富士山世界文化遺産登録十周年記念
千葉県生誕百五十年記念事業

梅ヶ瀬詩画展にみる

ひだか のぶざね

理想郷住人 日高誠實



日高誠實詩画展 2023・08・18 (令和5年)

2階
つるまい 美術館

養老溪谷(梅ヶ瀬)詩と絵画展

入場 無料

1階
つるまい ホープラザ
ランチ 及 喫茶

営業時間 10:00~17:00

千葉県誕生150年!! 文化源泉千葉時代
めざせ理想郷・梅ヶ瀬詩人「日高誠實」を偲ぶ













祝 富士山世界文化遺産登録十周年記念
千葉県生誕百五十年記念事業

梅ヶ瀬詩画展にみる

ひだか のぶざね

理想郷住人・日高誠實



市原郡大久保村への永住決意

「日記」によると、誠實が初めて「梅ヶ瀬」を訪ねたのは、明治十七年である。
大福山に登り、永住の気持ちを抱いたのではないか。



市原郡大久保村へ

前述のように誠實は、明治十七年（一八八四）の夏に一度千葉県市原郡大久保村地先を訪問している。この辺りで一番高い大福山で眺望を楽しみ、原野開拓や酪農への青写真を描いたのであろう。すなわち「梅瀬起業簿」によると、明治十七年八月三十日に、「戸長秦野真治とともに大福山に登り地形を一望した」とある。



明治十七年八月三十日大福山眺望の後

誠實は、現地の戸長秦野真治と相談し、県への提出書類を作成し、十月に千葉県令船越衛宛てに提出した。原野拝借文書によると、内容は次の通りである。



官有原野地面拝借願

上総国市原郡大久保村地先同郡柳川村、菅野村、石塚村、折津村、朝生原村、望陀郡川谷村、怒田村、大谷村、小市部村入会

一 官有原野反別百八十八町四反歩

但し、明治十七年より同三十六年まで二十ヶ年間無料拝借、相願い候分

何故「梅ヶ瀬」と命名したか

大和（奈良）の月ヶ瀬にちなんで東海一の名所にしたいと

市原市・養老溪

奈良市月ヶ瀬



(梅ヶ瀬に入り、漢詩十首を詠み、関係者に配布した

日高誠實十首 序文

客歳、予南総に遊ぶ。養老川を遡り一溪流に従い数洞門を過

ぐ。溪逾深く、趣逾奇なること仙窟に入るが如し。因つて

大久保・朝生原・折津・石塚・菅野・柳川・怒田・大谷・川

谷・小市部、十村之衆に説きて、梅四百余株を栽え、命けて

梅瀬と曰ふ。今茲に丙戌(明治十九年・一八八六)三月、余

再び至りて、梅及柑橙柘榴一千六百余株を栽え、隣邑の人來

りて、花木亦数百株贈られ、俄然觀を改む。衆父予の為、力

を致し荒蕪を開き通路築き土を築き、水を遏め、巖を剗り、

宅成る。石神邑戸面村の人亦來りて工事を助く。予因りて巖

上に廬を結び、池中に魚を放す。洞門を鑿修し以て便ち往來

來りて吟嘯し自ら樂しみ十首賦す。

一首

洞門無鎖隔塵途
移得梅花山更殊
太古以來荒廢地
欲成東海一名區

日高誠實

塵途じんとを隔つも洞門鎖とぎすこと無し

梅花を移し得て山更に殊なる

太古こうはい以來 荒廢こうはいの地

東海的一名区と成さんと欲す

洞門（私の住居に到る門）には外部を隔てるものはない。梅花を植し山は、際立って美しくなってきた。太古以来荒廢しているこの地を、東海的一名所にしたい。きっと実現させてみせるといふ強い信念が結句から伺える。

二首

十村協力して吾が廬を結ぶ
堪感交情厚有餘
西海人為東海客
他郷閭似旧郷閭

日高誠實

十村協力して吾が廬^{いおり}を結ぶ
感に堪^たふ 交情厚く余り有り

西海の人東海の客と為り

他郷の閭^{りよ} 旧郷の閭に似たり

十村が協力してくれたお蔭で家を建てる事ができた。人々の厚情に感謝しきれないほどだ。西海人である私が東海の客となり、この地に根を下ろすことになった。他郷であるはずのこの村が自分の故郷と同じように思えてくる。

三首

家は層巖壁立の中に在り
梅花柳色映簾籠中
高陵削去埋深谷
一路新成車馬通

白高取

家は層巖壁立そうがんへきりつの中に在り

梅花柳色 簾籠れんろうに映ず

高陵削去して深谷を埋め

一路新たに成り車馬通ず

私の家は何十もの層を持つ岸壁の中にあり、梅花・柳の緑が窓の簾に映えている。高陵を削り深谷を埋めて一本の道路が開通し車馬が通るようになった。



四首

径辺の薇蕨は供食に堪え
屋後の池塘可養魚
百丈の奇巖臨約
千尋の恠岫階除

白高誠實

径辺けいへんの薇蕨びけつは供食たに堪え

屋後おくこの池塘ちとうは魚を養うべし

百丈きかんりやくしやくの奇巖きがん略約りやくを臨む

千尋せんじんの恠岫かいしゅう階除かいじよを起す

道辺せんまいわらびの薇や蕨を共に食べ、家の側にある池で魚を飼おう。百丈もある珍しい岩を丸木橋から

臨む。高く、そして深い山間には、歩きやすいように傾斜を緩めて階段を造ろう。

五首

清溪百曲絶人烟
孤客幽棲别有天
巖穴經營聊就緒
亭魂方穩北窓眠

白高誠實

清溪百曲人烟絶え

孤客幽棲し別に天有り

巖穴の経営聊か緒に就き

いんげん

夢魂方に穩り北窓に眠る

曲がりくねった清らかな溪谷には、人の気配がない。あたかも別世界に住んでいるようだ。

岩を切り開いていくうちに、いささか今後の経営の糸口が見えてきた。夢の世界で思いつめた心は落ち着き、北窓に向かって穏やかに眠る。長年の夢が実現しつつある、そんな喜び、安心感を感じる詩である。

六首

一醉高歌和者誰
小窓時有老猿窺
池辺拍手魚求餌
溪上移筇鶯促詩

白高賦實

一醉して高歌 和する者は誰ぞ

小窓に時に老猿の窺ふ有り

池辺に手を拍てば魚は餌を求め

溪上 きょう 筇を移せば鶯詩を促す

ほろ酔いの私に合わせる者は誰だろうか。小窓から時折老いた猿がこちらの様子を伺うかの
ように姿を見せることがある。池辺で手を打てば、魚が寄ってくる。溪上に歩を進めると梅の
枝に移った鶯が、あたかも詩を促すかのように鳴いている。

七首

繞屋流泉清可鑑
臨崖群木勢皆傾
金鱗互甲同遊戯
黃鳥杜鵑相和鳴

白
鳥
賦
實

屋を繞る流泉清うして鑑のごとし

崖に臨む群木 勢皆傾く

金鱗玄甲同じく遊び戯れ

黄鳥杜鵑相和して鳴く

めぐる

家を繞る流れは、清らかで鑑のように澄んでいる。崖に臨む木々は、形よく傾き、池では魚や亀が、それぞれに遊んでいる。鶯やホトトギスも互いに競うように鳴いている。

八首

怪巖奇木潺湲擁
一路經過幾洞門
吾輩元非避秦客
人言此境似桃源

白高誠實

かいがん きほくせんかん
怪巖奇木潺湲を擁し

一路經過す 幾洞門

わがともがら
吾輩元より秦客を避くるに非ずも

人は言う、まじょう此の境 桃源に似たりと

不思議な形をした岩や珍しい木々は清らかな流れを抱きかかえているかのようだ。道をたどりいくつかの洞門を過ぎた。たどり着いたこの地は、旅人を受け入れぬわけではない。人はこの地を桃源郷に似ていると言う。中国秦代に騒乱を避けて桃源郷に移り住んだという故事に基づく。もちろん陶淵明の「桃花源記」による。

九首

白雲為戸石為門
幽谷寥々一小軒
極目荒蕪幾時關
十村々外更成村

白高誠實

白雲 戸を為し 石は門を為す
幽谷 寥々として一小軒
極目 荒蕪幾時か關くる
十村々外 更に村を成す

白雲を戸となし、石を門となす、奥深い幽谷にある一軒の家は静まり返っている。見渡す限りの荒地を拓き、十村以外にも更に村を拓いていく。

十首

曠野蹊を成し 僅か数句
自期す 猿鶴と独り相親しむ
土人 往々營宅に来たり
不徳吾の如きも 亦隣り有り

日高誠實

曠野蹊を成し 僅か数句
自ら期す 猿鶴と独り相親しむ
土人 往々營宅に来たり
不徳吾の如きも 亦隣り有り

歌を詠みながら、道を歩いていると、猿や鶴の鳴き声が聞こえ、私はその声を楽しみ親しむ。地元の人たちがしばしば赴いてくれ、私のような不徳な者も隣人として優しく迎え入れてくれた。

日高誠實は梅ヶ瀬に入り、漢詩を十首詠み、関係者に配布した。

梅ヶ瀬紀遊の人々

東金の安川惟礼（これのり）（柳溪）は、『上総国誌』全六巻の著者として世に知られている。明治二十年（一八八九）に梅ヶ瀬を訪問し、紀行文「梅ヶ瀬紀遊」を著わし、またその風景を描いた。

旅程「明治22年3月5日」福俵||上茂原・武田氏の梅園―綱島村・幹竹蔭家泊。

「6、7日」立木村・高橋鶴洲家滞在。「8日」鶴舞・小松本楼泊。「9、21日」鶴

舞川大久保村||梅ヶ瀬・日高如淵家滞在。「22日」梅ヶ瀬||高滝：鶴舞泊。「23日」

長南||帰宅。

明治二十二年三月九日、二十一日、十三日間梅ヶ瀬に滞在



安川柳溪



東金市福俵 本福寺の柳溪の碑

※ 参照

（東金が生んだ文人

安川柳溪

城西国際大学水田美術館

図録）



明治二十二年旧曆三月九日入山、十日余
りで梅ヶ瀬の十二勝を描いたといわれる。

部分拡大図



部分放大图



「梅ヶ瀬之十二勝」 明治 22 年（1889 年） 安川柳溪・画

部分拡大

誠實の俳句

梅咲くや
幾度渡る
丸木橋





第15回 梅ヶ瀬会通常総会 平成27年2月25日 会場・鶴乃家



梅々瀬会総会 会場・養老溪谷「鶴乃家」



第15回通常総会

平成27年2月25日

会場 鶴乃家旅館

日高誠實顯彰碑

養老溪谷の奥深く紅葉の名所として知られる秘境に梅ヶ瀬溪谷がある

この地は往年日高誠實先生が官職を辞した後文雅の道を楽しみつつ新居を構え産業を興し子弟の教育に後半生を捧げ尽した地である

先生は天保七年宮崎県美々津に日高謙三篤子の長男として生まれ長じて高鍋藩明倫堂の教授となる

その間江戸に留学して研鑽をつみ明治五年三月陸軍省勤務を命ぜられ陸軍大尉となるも明治十七年願により陸軍省出仕を辞するや翌十八年千葉県より官有地一八八町四反を無料で借り受けこの地を梅ヶ瀬と名づけて理想郷をつくることを夢みて移住する山林に梅果樹花木杉等を植林し養魚場をつくり産業を興すまた書塾梅ヶ瀬書堂を開き寄宿舎には一時は八十名にも及ぶ子弟を収容し市原君津夷隅長生山武郡下の青少年の育成に努め産業の開発と文化の向上に尽された先生はまた詩文和歌俳句書画などにも通じ多趣味で悠々自適な生活を送られた

大正四年八月廿四日八十才の長寿を保ち山紫水明の地鷹取山山頂に眠る没後八十有余年の歳月が流れその屋敷跡には小さな石碑を残すのみで当時を偲ぶよすがはない

茲に有志相計り顯彰碑を建立し先生の遺徳を顯彰すべくその実現をみた次第である
平成十一年十一月吉日

象閣 中村哲二撰文並書



房総の仙客

梅ヶ瀬詩人

日高誠實

2023



2020年2月23日 富士山詩画誕生 2020年 地磁気逆転チバニアン誕生

富士結ぶ神仏習合宝林寺 養老溪谷 富士山 宝林寺奉納式典
富士浅間五社大菩薩木花咲耶姫命 富士山詩画F20号二作品奉納
チバニアン地層 地念処足地蔵一対奉納

場所：養老溪谷 富士山 宝林寺
日時：2023年9月23日(土) 奉納式典12:00～13:00
大福山梅ヶ瀬詩画／詩・画・舞の祭典13:10～15:00

司会進行：忍野富士山アートピア実行委員会実行委員長
養老溪谷梅ヶ瀬大福山ゴールドenspバイクライン実行委員会実行委員長 関谷正夫

12:00 養老溪谷 富士山 宝林寺奉納式典
開会あいさつ 養老溪谷梅ヶ瀬大福山ゴールドenspバイクライン実行委員会会長 佐久間隆義
富士山詩画二作品奉納 市原市自然薯生産組合／農産物奉納(自然薯・米・椎茸・梨)
市原市観光大使・栗田宏武作／チバニアン地層 地念処足地蔵一対奉納
世界平和地域発展と万人幸福の祈り 養老溪谷 富士山 宝林寺・千葉公慈住職(市原市観光大使)
13:10 太古の地層養老溪谷大福山梅ヶ瀬詩画 詩・画・舞の祭典
日高のぶざね作「序文と梅ヶ瀬詩画十首十景」 オカリナ演奏／土屋さとし 語り／吉田隆岳 役員
吟詠／(公社)日本詩吟学院秀風吟道会役職者各位
①「予、南総に遊ぶ」 吟・原 岳秀 会長 ②「仙窟に入るが如し」 吟・三橋扶岳 副会長
③「溪愈々深く」 吟・吉田隆岳 役員 ④「百丈の奇巖を臨む」 吟・守屋英岳 役員
⑤「清溪百曲天有り」 吟・渥美盟山 役員 ⑥「溪上に鶯詩を促す」 吟・原 岳秀 会長
⑦「流泉清う鑑の如し」 吟・三橋扶岳 副会長 ⑧「此の境桃源に似たり」 吟・吉田隆岳 役員
⑨「幽谷 寥々として」 吟・守屋英岳 役員 ⑩「曠野溪を成し」 吟・渥美盟山 役員
「南市原文化創生」ビデオスライド解説 鶴舞藩を知る会 事務局長・塚原 茂
来賓あいさつ 千葉県県会議員・伊豆倉雄太
閉会あいさつ 養老溪谷梅ヶ瀬大福山ゴールドenspバイクライン実行委員会委員 安藤 猛
15:00 終了

主催：忍野富士山アートピア実行委員会、 養老溪谷梅ヶ瀬大福山ゴールドenspバイクライン実行委員会
共催：パングラデシュ・グローリアファンデーション
後援：北口本宮富士浅間神社、日蓮宗總本山 身延山久遠寺、(一社)新極美術協会、香雲堂吟詠桜白会、(公社)日本詩吟学院秀風吟道会
ネパール日本友好協会、富士急行 株式会社、株式会社 富士急百貨店



世界文化遺産富士山

登録十周年記念

富士山詩画
誕生の意義と
未来の展望

完



2023(令和5年) 9月23日 会場・寶林寺

参照 「房総の仙客 日高誠實」 渡辺茂男著
写真 忍野富士山アートピア実行委員会
DVD 鶴舞藩を知る会・梅ヶ瀬会 塚原 茂